

平成 15 年度 第 5 回理事会抄録

日時：平成 15 年 12 月 20 日（土）PM13:00～18:20

場所：（社）日本作業療法士協会 7 階 会議室

出席：杉原（会長）、中村（春）、山根（副会長）、荻原（事務局長）、富岡、古川、長谷川（監事）、岩瀬、香山、鶴見、曳地、比留間、松房、山田（常務理事）、大熊、大丸、片岡、小林（正）早川、日垣、山本（理事）、石塚、小林（毅）、東、毛束、岩崎、森山（部・委員長）、大嶋（士会連絡協議会長）

検討事項

1．学会開催地及び学会長推薦の件（岩崎学会評議委員長）第 40 回学会を平成 18 年 6 月 30 日～7 月 2 日に開催。開催地は京都、学会長は山根寛氏、開催士会を京都府作業療法士会とする。 承認

2．賛助会員入会の件（荻原事務局長）青海社（出版社）、パルジュ（クラフト関係会社）の 2 社より C 会員として入会申し込み。 承認

3．会員データ管理について（岩瀬調査部担当理事）入会申込書の書式について運営会議で出された意見を集約し、検討した案を提案。 承認

4．事務所拡張の件（会長）事務局が入居しているビルの 10 階に空室が生じることから、10 階を賃借し事務所の拡張を提案。10 階を多目的会議室とする。収容人数は約 80 名。会館設立との関係、不動産を所有することの意義、ワンフロア、あるいは上下で賃貸できるビルへの移転等を含め中・長期計画を立てる必要性等について意見が出された。会館設立に関する件は別途検討することとし 10 階を賃借する。16 年 5 月頃入居予定。 承認

5．平成 16 年度主要目標（案）について（毛束企画調整部長）提案された案について意見が出され、修正を行った。修正内容は、主題「変化する社会ニーズに対応できる作業療法士の質の向上」、主要目標 1)作業療法士の質の向上 2)教育分野における作業療法の課題と対策の検討 3)国際交流活動の促進 4)医療保険報酬体系への対応並びに介護保険制度の見直しに関する提言活動の促進 5)協会活動の機能評価体制の整備 承認

6．平成 16 年度予算（案）について（石塚財務部長）主要目標が決定されていない段階での案であるため、変更の可能性がある。3 月の理事会で承認する。 継続審議

7．全国研修会の形式・介護フォーラムの継続について（曳地事業部担当理事）1)介護フォーラム：今後も PT、ST、OT の 3 協会での開催を継続する。16 年度は北海道で開催予定、担当は OT 協会。 承認

2)全国研修会：来年度担当士会の佐賀県士会より約 550 万円の予算要求があった。企画書及び詳細な予算案が提示されていないため、早急に提出を求め、再度検討する。

継続審議

8. 作業療法成果検討報告について（森山成果検討委員長）作業療法成果の根拠を示す枠組みについて 1)事例報告の蓄積化について 2)目的を明確にしたプロジェクト研究の実行化について報告された。報告として受け、今後は担当部署を決めて実行していく。 承認

9. 診療報酬改定・介護保険制度改定に関する要望（案）について（東保険部長）運営会議で出された意見を踏まえ加筆、修正を行った。理事会で承認が得られ次第、厚労省へ要望に行く。 承認

10. 医療福祉チャンネル 774 との契約の件（事務局長）弁護士同席の上契約書案文を作成した。講師・パネラーの費用負担、著作権等について意見が出された。 承認

11. その他退会者について（荻原事務局長）死亡による退会者が1名。 承認

報告事項

1. 平成 15 年度中間監査報告及び第 37 回学会監査報告（古川監事）中間監査については外部委託事業に関する意見を付記。学会については適正な実施と判断する。

2. 社会福祉・医療事業団助成金事業について（会長）事業団より助成金事業の計画と実施との一部齟齬に関し指摘を受けた。今後はチェック機能を強化し対応する。

3. 痴呆に対する作業療法検討委員会報告（香山委員長）15 年度で終了し報告は機関誌等に掲載する。

4. 保健福祉対策委員会検討経過報告（荻原事務局長）
3 回開催された委員会での検討の概要報告。

5. 福利部求人調査報告（早川担当理事）調査結果報告。問題がなければ調査結果について機関誌に掲載したい。

6. その他

1)厚生労働省司法精神医療人材養成研修企画委員会に山根副会長、鶴見理事、香山理事、国立肥前病院、国立武蔵病院の作業療法士が参加（香山精神障害担当理事）。2)精神障害者スポーツ振興について協会としてどう関与していくか渉外部で検討する。